



**新年のご挨拶**  
**GREEN×EXPO 2027に向けて**



農林水産省 農産局長

山 口 靖

新春を迎えるに当たり、謹んで年頭の御挨拶を申し上げます。

一般社団法人日本植木協会及び会員の皆様におかれましては、日頃から緑化用樹及び鑑賞用樹の生産供給に御尽力されたとともに、植木の輸出をはじめとした花き産業及び文化の振興に力を発揮いただき、心より感謝申し上げます。

**新年のご挨拶**  
**緑豊かなまちづくりに向けて**



国土交通省 大臣官房審議官

出 口 陽 一

さて、植木については、令和6年の花き輸出額98・2億円のうち約7割を占めるなど花き輸出の主力品目で、平成29年に1,36・5億円まで上昇した花きの輸出額は、その後コロナ禍や人件費等の増加による輸出経費の上昇などを背景として低下し、近年はやや持ち直しているものの不安定な

状況が続いている。また、昨年も大雨や少雨、記録的な高温等が発生し、貴会及び会員の皆様におかれましては、植木の生産管理等で御苦労が多かつたことを拝察いたしました。このように、昨今の植木を取り巻く情勢が変化する中で、昨年4月の「食料・農業・農村基本計画」の改正に合

花と緑のあふれる暮らしの実現、気候変動対策や生物多様性の確保などの社会的課題解決等への貢献を

本基本方針の実現に向け、貴協会及び会員の皆様におかれましては、植木の生産管理等で御苦労が多かつたことを拝察いたしました。このように、昨今の植木を取り巻く情勢が変化する中で、昨年4月の「食料・農業・農村基本計画」の改正に合

花と緑のあふれる暮らしの実現、気候変動対策や生物多様性の確保などの社会的課題解決等への貢献を

本基本方針の実現に向け、貴協会及び会員の皆様におかれましては、植木の生産管理等で御苦労が多かつたことを拝察いたしました。このように、昨今の植木を取り巻く情勢が変化する中で、昨年4月の「食料・農業・農村基本計画」の改正に合

花と緑のあふれる暮らしの実現、気候変動対策や生物多様性の確保などの社会的課題解決等への貢献を

本基本方針の実現に向け、貴協会及び会員の皆様におかれましては、植木の生産管理等で御苦労が多かつたことを拝察いたしました。このように、昨今の植木を取り巻く情勢が変化する中で、昨年4月の「食料・農業・農村基本計画」の改正に合

花と緑のあふれる暮らしの実現、気候変動対策や生物多様性の確保などの社会的課題解決等への貢献を

本基本方針の実現に向け、貴協会及び会員の皆様におかれましては、植木の生産管理等で御苦労が多かつたことを拝察いたしました。このように、昨今の植木を取り巻く情勢が変化する中で、昨年4月の「食料・農業・農村基本計画」の改正に合

わせ、農林水産省では、花きの振興に関する法律に基づく「花き産業及び花きの文化の振興に関する基本方針」を改正したところです。新たな基本方針では、生産・流通・輸出・文化・需要を整理しております。植木に関する内容としては、例えば、輸出の柱の中で輸出先国の植物検疫要求に対する技術の開発・普及に努めること等を掲げております。本基本方針の実現に向け、貴協会及び会員の皆様に御協力をいただきながら、その実現に取り組んでまいります。

また、昨年は大阪・関西万博が開催され、大きな話題となりました。この熱量を引き継ぎ、次なる万博と

とも、屋外展示では植木を用いた美しい風景としての「令和日本の庭」、屋内展示では盆栽や生け花の展示

へ進むというコンセプトの植物をはじめとした花き産業にとって、実りの多い一年となるよう祈念することを願うに、皆様のご健勝とご活躍をお祈り申し上げます。

結びに、本年が我が国の植木をはじめとした花き産業にとって、実りの多い一年となるよう祈念することを願うに、皆様のご健勝とご活躍をお祈り申し上げます。

また、本年9月18日から京都府の丹波地域全体を会場として、「食農と環境そしてアートで輝く京都丹波」をテーマに、第43回全

国都市緑化フェアが開催されます。このフェアを成功に導き、その成果を2027年国際園芸博覧会へと繋げ、共に成果を高め合う機会としてまいりたいと考えております。この機会を通じて、グリーンの多様な価値を国内外に広く発信し、「幸せを創る明日の風景」を次世代へと継承していけるよう、引き続きのご協力を

願いいたします。

本年は、いよいよ入場券の発売を開始するなど、開催に向けて国内外での機運が加速される重要な年となります。貴協会及び会員の皆様におかれましては、よりお願い申し上げます。

2027は、「幸せを創る明日の風景(Scenery of Future for Happiness)」を

テーマに、神奈川県横浜市で来年3月から開催されます。

GREEN×EXPO

して国際園芸博覧会(GREEN×EXPO 2027)がいよいよ1年後開幕となります。

GREEN×EXPO

で、来年3月から開催されます。



# 歓迎

## (一社)日本植木協会 令和8年度通常総会

### 新年のご挨拶・関西ブロック

関西ブロック長 (滋賀県支部長)

松居 隆史

松居農園(株) (滋賀県)

くお願い致します。

さて、おかげ様を持ちま

して、全国の植木協会員様

の協力で、大阪・関西万

博を大盛況にて終える事が

できました。私も、家族と

行きましたが、大屋根リ

ングから見下ろした緑を見

て、改めて緑の力は偉大だ

と感じました。また、大屋

根リングの下の日陰・大径

木の日陰が、昨今の酷暑に

口融資も完済まであとわず

かとなり、資金繰りや人手

不足・物価高騰等、中小零

細企業には大変厳しい局面

を迎えておりますが、皆様

のご健勝とご多幸をお祈り

申上げます。

は、横浜で行われる国際園

芸博です。協会の力を存分

に示していきましょう。

これからも植木産業が

生き残っていくため、植木

業界がよりよくなるよう頑

張りたいと思います。宣し

申上げます。

フランも植木は必要なもの

にしていく事で私たち植木

業界が持続的なものになる

かと感じております。今度

は、横浜で行われる国際園

芸博です。協会の力を存分

に示していきましょう。

これからも植木産業が

生き残っていくため、植木

業界がよりよくなるよう頑

張りたいと思います。宣し

申上げます。

は、横浜で行われる国際園

芸博です。協会の力を存分

ルポ

シリーズ  
社園さん紹介

No.31

グンゼグリーン(株)  
横浜営業所  
神奈川県(横浜市瀬谷区)

グンゼグリーンは、地域・生産者・社会・社員と多方面でつながり、三つの軸や社是に込められた精神を大切に、若手とベテランが共に成長している企業です。緑の提供により、安全で明日をもっと心地よく暮らせる持続的な社会の実現をめざす。それがグンゼグリーンの使命です。



社長の池田智範さん



上段左から田中孝文所長、清水尚さん、池田智範社長、下段左から田内賢太さん、石引恵美さん、今村征哉さん、三井大輔さん、石井萌恵さん、石井仁太郎くん(抱っこ)



インタビュー風景



瀬谷協議会の出荷場



瀬谷協議会の農場にて

## グンゼグリーン(株)の成り立ちは?

社長の池田さん: 「グンゼの原点は明治期の生糸事業です。桑を育て、蚕を扱う生産者と共に歩んだ歴史から、“地域と共に成長する”精神が育まれました。その延長として緑化事業に着目し、農家の皆さんと共に緑化木を生産。1973年の設立当初から、生産者の方々と寄り添う姿勢を大切にしています。」

清水さん: 「昔は全国に数十か所の生産拠点があり、地域に根差した事業を行っていました。今は、生産は茨城のみですが、生産跡地に営業所を置き、メーカーとして、作ることを重視していました歴史があります。」



清水尚さん



木村和嗣さん

■社名に込められた理念  
「郡是」

清水さん: 「創業地は京都府何鹿郡(いかるが)綾部町で、“郡に是(よ)しとする=郡の模範となる”という願いが社名に込めています。グンゼは元々、郡是(ぐんぜ)と書き、当時、何鹿郡の生糸は品質が安定せず、“この地域から、世界に通用する品質を生み出したい”という強い思いが創業の原点でした。そのためには、技術だけでなく、働く人の教育も重要でした」…ジャパンクオリティではなくグンゼクオリティだそうです。

池田さん: 「当時のグンゼでは、若い女性工員が働きながら読み書きや礼儀作法など人として成長するための学ぶ場がありました。心が整ってこそ良い製品が生まれる—この“人を育てる”という姿勢は、今もグンゼの理念の中に受け継がれています。」

## ■3つの軸

## グンゼには3つの軸と社是がありますね。

清水さん: 「3つの軸とは、“あいさつをする”人間関係を築く第一歩、“はきものをそろえる”先々を考える気配り、“掃除をする”物事のけじめをつける、の3つです。まず自分を律することが大事だという考え方ですね」…私も3つの軸を心掛けたいです。

## ■若手育成へのこだわり

## 若手社員の育成については?

池田さん: 「若手には、できるだけ実際の現場に触れる機会を増やしたいと思っています。造園会社との調整や植栽作業現場や樹木生産の圃場だけでなく、様々な場所に足を運び、色々な現場を体験してほしい。そんな思いがあります。現地での案件や生産者の方々の想い、関係先の考え方方に触ることで理解が深まり、その経験が植栽だけに留まらず、将来の環境についても自ら考え、提案する力につながると考えております。」

清水さん: 「営業、生産者、現場の話を聞き、把握し、判断できるオールマイティな人材になって欲しい。若手社員のレポートや提案は、雑誌に載せられるほどのクオリティで、CO<sub>2</sub>削減の証明や、植物発電など研究博士、植物博士、昆虫博士もいるので、その知識も活かしてほしいです。」

田中さん: 「また、グンゼ全社では創業以来“人を育てる”精神を大切にし、節目ごとに行う研修を中心に、社会人基礎教育やOJTを通じて、肌着、メディカル、プラスチックなど、異なる分野の仲間と共に学び合う機会を設けています。分野を越えて関わることで、社員同士が視野を広げる良い機会となっています。」

## ■福利厚生などは?

渡辺さん: 「子育て中の社員も育休・産休を取りながら、復帰後に活躍できる環境を整えています。」

清水さん: 「女性が緑に携われるポジションは大切。女性がもっと活躍して女性を手助けできるような企業になれたらいいです」…石井さんが2度の育休後の復帰は高いロールモデルですね。」

## ■就職活動の学生さんに向けては?

池田さん: 「最近の学生は、環境課題への関心が高い。グンゼグリーンは“緑で未来を創出する”ことを掲げ、生産者の皆さんや我々を取り巻くすべての方々とも共存共栄を図りながら、持続可能な社会づくりに挑んでいます。社会貢献と事業成果を両立させながら未来を共につくりたいと考えています。」

## ■今後どのような会社を目指していますか?

池田さん: 「“若さと創意を活かし、世界の一流をめざす”という社是のもと、若手社員の柔軟な発想力や行動力と、ベテランの知恵



竹内徳昭さん

や経験を融合させ、若い世代とベテランが力を合わせることで日本の住環境や都市環境をより良くしていきたい。挑戦し続ける姿勢こそがグンゼグリーンの目指すべき姿です。」

## 若手社員インタビュー

牧野富太郎先生風の衣装の三井さんに大笑い!

## ■仕事の内容は?

石井さん: 「造園会社から依頼された樹木を探し、手配し、現場に納品します。植栽前の動線確認や、管理や植栽のアドバイスなど幅広くサポートしています。」

石井萌恵さん  
(育休中のため仁太郎くんをだっこしてインタビュー)

## ■横浜営業所のいい所は?

三井さん: 「実際にここに来るまでは、横浜は赤レンガや海のイメージでしたが…(笑)。瀬谷は生産者さんに近く、現場を直に確認できるのが魅力です。植物や畑に触れられる環境が瀬谷にある理由ですね。」

三井大輔さん  
(牧野富太郎先生風)

## ■仕事で楽しいことは?

今村さん: 「人とのつながりが増えたのが楽しいです。生産者の方々との関係構築にやりがいを感じます。」



今村征哉さん

三井さん: 「“日の目にあたってない植物でも、世に出してあげたいな”とか、“この個性がある植物を植栽に使ったらどうなるのかな?”と、想像しながらの現場周りは楽しいです。」



田内賢太さん

## ■大変なことは?

田内さん: 「正直、早起きが苦手ですが、遅刻はしていません(笑)。産地から届く樹木を早朝に出荷場で準備するので6時起きです」…先輩から色々いじられていました(笑)。」



三井さんの趣味



清水さん

## ■皆さんの趣味

池田さん: ゴルフに熱中  
清水さん: ヨットでの本格的な航海  
田中さん: 立ち飲み屋めぐり  
木村さん: 散歩に読書  
渡辺さん: リーグワン観戦、関東甲信のハイキング  
竹内さん: 山城・城下町散策  
石引さん: 平井大の推し活  
石井さん: 育児中心としながらも、グンゼが関わる2027年国際園芸博覧会の短期出展に携わるため4月から復帰予定  
三井さん: 部屋はオーストラリア産のプロスティリスでいっぱい(笑)  
今村さん: 海外サッカー観戦  
田内さん: 転勤後、バイクにて江ノ島へ初ツーリング





## 令和7年度通常総会

木医 中島佳徳氏（有  
中島樹木クリニック）  
をお迎えし、樹木の診  
断についての講演をし  
ていただいた。17時30  
分からは 同ホテルに  
て懇親会が開催され、  
終始和やかに懇談が行  
われた。

## お知らせ

新樹種部会 令和8年度通常総会  
令和8年2月20日(金)  
赤坂サンスカイルーム(東京都港区)  
青年部会 令和8年度通常総会  
令和8年2月10日(火)  
大阪ガーデンパレス(大阪府大阪市)

## 會員動向

■ 代表者変更  
▷ (新) 持田瑛太郎 持田植木 (神奈川県)  
■ メールアドレス変更  
▷ (有) 山崎瑞松園 (福岡県)  
ZVE01176@nifty.ne.jp  
■ 退会  
▷ (株)道南園芸 (北海道) ▷ 英美園 (静岡県)  
▷ 野口新緑園 (三重県) ▷ 竹千代園 (福岡県)

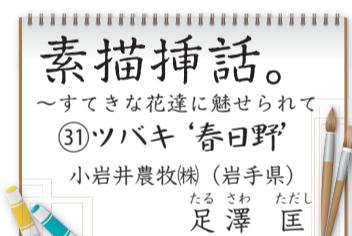
証報

▷ 江連ユキ 様 (江連 勝氏のご母堂様)  
 えづれ園 (栃木県)  
 令和7年11月1日 享年89歳

▷ 島根庄司 様  
 有茨城コンテナ 会長 (埼玉県)  
 令和7年12月4日 享年75歳

▷ 辰巳征子 様 (辰巳広之のご母堂様)  
 (株)植広園 (兵庫県)  
 令和7年12月7日没 享年82歳

▷ 林田 高 様 (林田高夫氏のご尊父様)  
 林田農園 (福岡県)  
 令和7年10月15日没 享年91歳



現在30品種ほど鉢植えで栽培して  
また、椿は高級な花木、自分の

葉の木」→「ツバキ」。また、「厚い葉の木」→「厚葉木(あつばき)」→「ツバキ」など、諸説あります。今回のスケッチは、「ツバキ‘春日野’ *Camellia ‘Kasugano’*」。ユキツバキの系統を受け継ぐ有名な園芸品種です。江戸時代に発刊された「花壇地錦抄(1695年)」に掲載され、「椿花集(1879年)」では、「椿七木」にも入っています。八重咲きの中輪で、紅色地に白横空斑(しろよこもくはん：白い木目のように波打つ横方向の斑)などの斑が入り、花形も中心部が花芯と花弁が交じり合い、牡丹咲きや二段咲きのような形にも変化します。花一つ一つに変化があって楽しいのですが、ある意味、固定していない。いや、固定していないのが、本品種の特徴なのかも知れません。妻が茶道をたしなんでいることもあり、ツバキ、ムクゲ、アジサイなど、茶花が庭に増えています。ツバキは、

す。咲くたびにスケッチしていますが、品種それぞれに個性があって、描き写すのが楽しいです。武士の庭には必ず植えられていましたが、柵を買えない下級武士の間では、花が落ちる様子

武士の庭には必ず植えられていいくつかですが、椿を貢えないと級武士の間では、花が落る様子「縁起が悪い」と言われ、高級な椿を植えない言い訳になっていた、と植木に精通している方からの被害が、椿、山茶花の人気をすっかり下げてしまった気がします。成虫になる前に確実に駆除、「チャドクガ」の北限は岩手県なのですが、私の住んでいる地域では、まだ被害が確認されていませんが、可能性があるので、注意が必要です。いろいろと書きましたが、植物に対する興味は尽



令和7年度「特別庭園樹木（名木）」を認定

基平植木 今里健吾 丘唐帽宝塚市3本

名木認定制度は、最高の技術と長い年月によって育成され芸術的風格を備えた庭園樹木（造形仕立て物及び自然型仕立物）を「名木」と認定し、その価値を称賛するとともに、生産技術の継承、生産意欲の振興を図り、ひいては需要の喚起により業界発展に寄与することを目的としています。

名木の対象樹種は、本会会員の所有する中・高木で、販売の意思があり、運搬可能であるものです。

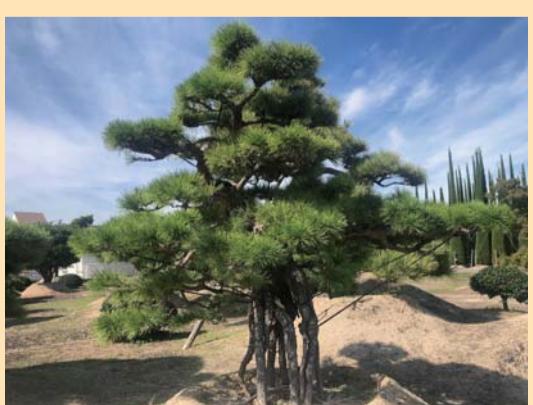
令和7年度は、一次書類審査をすべてが通過し、現地へ赴き2次審査を行い、申請樹木のうち「品位、風格を有し、社会的意義が極めて高いもの」として3本が認定されました。



①クロマツ 樹形 根上り石付き  
樹高1.20m 枝張1.20m  
樹齢50年 認定番号252801



②クロマツ 樹形 根上り



③アカマツ 樹形 根上り  
樹高2.00m 枝張2.30m 樹齢70年 認定番号252803